

千葉県立中央博物館実施計画に基づく外部評価について

令和 7 年 7 月 17 日
千葉県環境生活部スポーツ・文化局
文 化 振 興 課

令和 6 年度に策定された「千葉県立中央博物館実施計画」に基づき、令和 7 年度実績から外部評価を実施する。

1 外部評価実施の経緯

博物館法においては、博物館の運営にあたり評価及びその結果に基づいた運営の改善が努力義務とされており、千葉県では平成 18 年度から 29 年度にかけて美術館・博物館の外部評価を行ってきた。

しかし、県立美術館・博物館は、「公の施設の見直し方針」（平成 28 年 7 月）を受け、各館の在り方について検討を始めたため、「外部評価」の結果を中・長期的視点での経営戦略等に生かすことができなくなった。このため、「外部評価」は平成 30 年度から一旦休止としている。

その後、中央博物館は今後の運営指針となる「千葉県立中央博物館みらい計画」を定め、令和 6 年度にはこの計画を実現するため、今後 4 年間の事業計画である「千葉県立中央博物館実施計画」を策定した。その中で外部評価の実施についても明記しており、評価により職員意識の向上を図り、次年度以降の活動に反映させるため令和 7 年度から外部評価を実施する。

2 外部評価の手法（案）

実施計画の総合的目標及び重点事業の評価指標の達成状況について、評価を行う。

1. 自己点検

中央博物館は、「外部評価用自己点検票」を用いて自己点検を行う。

総合的目標：当該年度の目標値を年度当初に設定し、年度終了時に実績値を記入し達成度を判定する。

判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

重点事業：具体的な取組に記載された取組内容のうち、当該年度に実施する事業を年度当初に記載し、年度終了時に実績を記入する。

当該年度の目標値を年度当初に設定し、年度終了時に実績値を記入し達成度を判定する。

実績と判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

基盤事業：評価指標が定められた基盤事業について、当該年度の目標値を年度当初に設定し、終了時に実績値を記入し達成度を判定する。

判定結果をまとめ、結果の要因や今後の方針について考察する。

2. 有識者による評価

外部有識者（千葉県立中央博物館リニューアル検討懇談会委員）は、「有識者評価票」を用いて自己点検結果を評価する。

3. 今後の活動方針の検討

中央博物館は、「評価総括票」に自己点検結果及び有識者による評価を取りまとめ、今後の活動方針を定める。

4. 千葉県博物館協議会への意見聴取

中央博物館は、外部評価結果（「評価総括票」）を千葉県博物館協議会に示し、意見を聴取する。

令和 7 年度 千葉県立中央博物館実施計画 外部評価用自己点検票（総合的目標）（案）

1 判定

指標		過去実績		R7年度自己点検				目標値			備考
		(R5)	(R6)	目標値	実績値	達成度	判定	(R8)	(R9)	R10	
中央博物館の年間利用者数	入館者数（本館）	96,381人	98,169人	109,000人				121,000人	133,000人	146,000人	
	入館者数（海博）	60,118人	78,630人	61,000人				61,000人	61,000人	61,000人	
	ウェブアクセス数（本館）	203,613件 (R3～R 5 平均)	185,881件	212,000件				221,000件	230,000件	240,000件	
	ウェブアクセス数（海博）	55,463件 (R3～R 5 平均)	57,050件	59,250件				61,450件	63,650件	66,000件	

現行自己評価に準じた手法で評価

年度ごとの適切な目標値を設定する

2 自己点検

※達成度・判定

1. 達成度: 実績値 ÷ 目標値 × 1 0 0

2. 判定

達成度（数値達成度のめやす）		判定
達成	達成度 ≧ 100%	A
ほぼ達成	達成度 ≧ 80%	B
やや不十分	達成度 ≧ 50%	C
不十分	達成度 < 50%	D

3. 総合判定 「判定の A ～ D を 4 ～ 1 に置換したものの和」 ÷ 項目数を A ～ D に置換。小数点以下は四捨五入

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業1）（案）

重点事業 第1節 千葉の海の魅力を探り、国内外に発信

1. 事業内容および実績	実施計画に記載された取組	実施スケジュールに記載された事業内容	取組内容に関する実績を記述
具体的な取組	取組内容	R7事業内容	R7実績
①千葉の海の魅力を探る調査研究の推進と発信	○東京湾の変遷について自然・人文の連携による調査研究と成果の発信 ○千葉県における海藻利用について自然・人文の連携による調査研究と成果の発信 ○房総海岸部における動植物の調査研究と成果の発信 ○千葉の海の幸を自然誌の視点で紹介する展示の開催 ○深海生物についての調査研究と成果の発信 ○分館海の博物館における海の自然に関する調査研究と成果の発信	・重点研究「東京湾の変遷を探る」の研究及び資料収集、小冊子刊行 ・国立歴史民俗博物館と共同研究「千葉の海藻文化と東アジア（仮）」の研究及び資料収集 ・重点研究「房総海岸部における動植物」の予備調査、計画立案、準備 ・深海生物に関する研究及び資料収集 ・特別展「房総うみの幸大百科」開催 ・海の自然に関する調査研究と成果の発信 ・マリンサイエンスギャラリーの開催	
②千葉の海をフィールドとした観察会や見学会の開催	○房総の海辺の生物や地形等の観察会の開催 ○房総の海辺の文化等の見学会の開催 ○勝浦の磯を中心とした海洋生物等の観察会の開催	・房総の海辺の生物や地形等の観察会の開催 ・房総の海辺の文化等の見学会の開催 ・勝浦の磯を中心とした海洋生物等の観察会の開催	

2. 評価指標の判定

取組内容	指標	過去実績		達成度・判定※（R7年度）				総合判定	目標値			備考
		(R5)	(R6)	目標値	実績値	達成度	判定		(R8)	(R9)	R10	
千葉の海の魅力を探る調査研究の推進と発信	展覧会で「千葉の海の魅力の理解が増した」と回答した参加者の割合	(新規)	(新規)	50%					60%	70%	80%以上	
千葉の海をフィールドとした観察会や見学会の開催	千葉の海に関する講座・観察会、見学会の参加者数	346人	387人	360人					375人	385人	400人	

3 自己点検

現行自己評価に準じた手法で評価

年度ごとの適切な目標値を設定する

取組実績と評価指標判定のまとめ、考察

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業2）（案）

重点事業 第2節 世界とのつながりを意識した活動

1. 事業内容および実績

具体的な取組	取組内容	R7事業内容	R7実績
①生物多様性等に関する研究の推進と発信	○県内各地（下総台地、房総海岸部、里山等）における動植物の調査研究と成果の発信 ○生態園における環境や動植物の生息状況等の継続的な調査研究と成果の発信	・重点研究「下総台地西部の自然」に関する調査研究及び資料収集 ・重点研究「房総海岸部における動植物」の予備調査、計画立案、準備【再掲】 ・「生態園」に関する展示やトピックス展の実施	
②世界の博物館等との連携・交流	○海外の博物館等との住民参加型の博物館活動を通じた交流事業の実施 ○海外の機関との研究等による交流	・海外博物館との連携にむけた準備、計画立案、研究等による交流	
③ウェブサイト、展示等の多言語化	○博物館利用案内や展示案内などのウェブサイトの表現の平易化、英訳併記など ○デジタルミュージアムなどウェブコンテンツの表現の平易化、英訳併記など ○常設展示の解説パネル等の表現の平易化、英訳併記など ○展覧会の解説パネル等の表現の平易化、英訳併記など	・表現の平易化、多言語化に向けた事例調査 ・特別展の解説パネル当の表現の平易化、英訳併記など	
④千葉県と世界のかかわりについての研究	○海外の学問やお茶、海藻など千葉県と世界の意外なかかわりについての調査研究と成果の発信	・「千葉の海藻文化と東アジア」に関する研究・資料収集【再掲】 ・海外から入ってきた学問「ちばの蘭学」に関する予備調査、計画立案 ・「千葉のお茶」に関する調査・研究及び資料収集	

2. 評価指標の判定

取組内容	指標	過去実績		達成度・判定※（R7年度）				総合判定	目標値			備考
		(R5)	(R6)	目標値	実績値	達成度	判定		(R8)	(R9)	R10	
生物多様性等に関する研究の推進と発信	展覧会で「生物多様性の理解が深まった」と感じた参加者の割合	(新規)	(新規)	50%					60%	70%	80%以上	
世界の博物館等との連携・交流	展覧会で「千葉県と世界のかかわりへの理解が深まった」と感じた参加者の割合	(新規)	(新規)	50%					60%	70%	80%以上	
千葉県と世界のかかわりについての研究	海外博物館等との共同研究の数（累積）	0件	0件	1件					1件	1件	2件	

3 自己点検

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業3）（案）

重点事業 第3節 他機関との連携強化

1. 事業内容および実績

具体的な取組	取組内容	R7事業内容	R7実績
①様々な主体との連携	○君津市立清和小学校等の県内各地の様々な主体と連携したフィールド・ミュージアム事業（観察会や見学会）の実施 ○県内各地の自然や歴史、文化の地域資源情報を盛り込んだ観察ガイドマップの作成 ○市町村や団体等が県内各地で実施する観察会などの野外における博物館活動等の情報集約・公開 ○様々な主体による観光イベントや広報媒体との連携による千葉の「おもしろい」の発信	・フィールドミュージアム事業の実施（重点地区：北総） ・観察ガイドマップの作成（重点地区：上総臨海） ・関係団体との調整、サイト準備	
②青葉の森公園周辺施設との連携強化	○青葉の森公園内で実施されるイベント等への参画 ○周辺施設と連携した展覧会や公園で1日すごせるプログラムの実施 ○展覧会やレファレンスサービス等における県立中央図書館との連携の実施	・イベント等への参加 ・公園で一日過ごせるプログラムの内容検討 ・「海の幸」等をテーマにした中央図書館との連携	
③博物館や研究機関等との連携強化	○国立歴史民俗博物館との共同研究や展示、講座、広報活動の実施 ○東京大学千葉演習林との共同研究や講座・観察会等の共催 ○千葉の自然と歴史、文化等に関する市町村立博物館職員等との共同研究等の実施 ○当館主催の共同研究に参画する研究員制度の整備	・国立歴史民俗博物館と共同研究「千葉の海藻文化と東アジア（仮）」の研究及び資料収集【再掲】 ・国立歴史民俗博物館との広報活動連携 ・東京大学千葉演習林との共同研究の実施、講座、観察会の共同開催 ・重点研究「東京湾の変遷を探る」の研究及び資料収集、小冊子刊行【再掲】	

2. 評価指標の判定

取組内容	指標	過去実績		達成度・判定※（R7年度）				総合判定	目標値			備考
		(R5)	(R6)	目標値	実績値	達成度	判定		(R8)	(R9)	R10	
様々な主体との連携	様々な主体との連携数	7件	7件	8件					9件	10件	11件	
青葉の森公園周辺施設との連携強化	青葉の森周辺施設と共同で実施した事業数	0件	0件	1件					1件	2件	3件	
博物館や研究機関等との連携強化	他の博物館や研究機関等と共同で実施した事業への参加者数	0人	123人	250人					500人	750人	1,000人	

3 自己点検

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業4）（案）

重点事業 第4節 デジタル技術の活用

1. 事業内容および実績

具体的な取組	取組内容	R7事業内容	R7実績
①博物館資料情報のデジタル化とウェブコンテンツの充実	○高精細画像や3D画像などの取得による博物館資料情報のデジタル化と公開 ○デジタルミュージアム等におけるウェブコンテンツの充実 ○ウェブサイトのリニューアルや収蔵資料データベースの拡充等、システム環境の整備 ○デジタルデータ公開に係るポリシーの見直し（R7年度）	・デジタル化（高精細画像化、3D画像化、写真フィルムのスキャニング等）、公開 ・デジタルミュージアムの充実（地学関連） ・システム環境の検討 ・データ公開ポリシーの見直し	
②外部システムとの連携	○国際的なネットワークとの連携（地球規模生物多様性情報機構（GBIF）、国際塩基配列データベース（INSD）） ○国内のプラットフォームとの連携構築（ジャパンサーチ、文化遺産オンライン、J-STAGE） ○研究者間の交流促進（researchmapとの連携・拡充）	・GBIF、INSDへの情報提供・連携継続 ・ジャパンサーチ、J-STAGEとの連携検討 ・research mapとの連携拡充	
③オンラインによる行事の実施	○オンラインによる自然と歴史、文化に関する講座や講演会等の実施 ○オンラインによる海外の機関とのシンポジウム等の共同開催	・講座、観察会等のオンライン配信	
④展示等におけるデジタル技術の活用	○高精細画像や3D画像などのデジタル化した博物館資料情報を展示等に活用 ○SNS等を活用した研究成果等の迅速な発信	・事例調査	

2. 評価指標の判定

取組内容	指標	過去実績		達成度・判定※（R7年度）				総合判定	目標値			備考
		(R5)	(R6)	目標値	実績値	達成度	判定		(R8)	(R9)	R10	
博物館資料情報のデジタル化とウェブコンテンツの充実	デジタルミュージアム各コンテンツへのアクセス件数	25,647件	確認中	37,500件					45,000件	52,500件	60,000件	
展示等におけるデジタル技術の活用	S N S 等による研究成果の発信数	16件	10件	19件					22件	26件	31件	

3 自己点検

令和 7 年度 千葉県立中央博物館実施計画 外部評価用自己点検票（重点事業 5）（案）

重点事業 第 5 節 資料を未来に引き継ぐ

1. 事業内容および実績

具体的な取組	取組内容	R7事業内容	R7実績
①収集資料の標本化・整理作業 及び登録の推進、地域館資料 の集約・保管	○収集資料の標本化・整理・修復作業の推進 ○収蔵資料データベースへの登録の推進 ○大利根分館、大多喜城分館の資料集約・保管	・継続的な標本化、整理、修復作業等 ・継続的な資料データベース登録 ・大利根分館での資料保管・活用 ・大多喜城分館の資料確認、移動	
②資料管理体制の強化	○総合的有害生物管理の手法や定期的な温湿度モニタリング等 による収蔵資料の管理体制強化 ○資料保存に関する外部研修会等への参加による職員の スキルアップ	・IPM手法や温湿度のモニタリング等 による収蔵庫管理 ・職員の外部研修等への参加（年 2 人）	
③資料救済ネットワーク 拠点機能の強化	○「博物館資料救済システム」のセンター館として災害発生時の 情報集約、平時の情報伝達訓練や研修等を実施 ○県内各地の博物館や地域に所在する資料情報の集約 ○自然史系標本セーフティネット、歴史資料ネットワークなど と連携した全国規模の資料救済 ○地域継承が困難な資料に関する相談受付 ○寄託・寄贈資料の積極的な受入れ	・県内各地の資料情報の集約 （重点地区：ベイエリア） ・自然史系標本セーフティネット等との 連携検討 ・地域継承が困難な資料に関する相談体制 の検討・構築	

2. 評価指標の判定

県内外の資料ネットワークとの連携数

取組内容	指標	過去実績		達成度・判定※（R7年度）				総合判定	目標値			備考
		(R5)	(R6)	目標値	実績値	達成度	判定		(R8)	(R9)	R10	
収集資料の標本化・整理作業 及び登録の推進、地域館資料の 集約・保管	資料データベースへの登録点数（累積）	504,902点	510,434件	525,000件					550,000件	575,000件	600,000点	
資料管理体制の強化	収蔵資料の事故による破損件数	0 件	0 件	発生させ ない					発生させ ない	発生させ ない	発生させ ない	
資料救済ネットワーク拠点機能 の強化	県内外の資料ネットワークとの連携数	0 件	0 件	1 件					2 件	3 件	4 件	

3 自己点検

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 外部評価用自己点検票（基盤事業）（案）

基盤事業の評価指標

1 判定

指標	過去実績		達成度・判定※（R7年度）				総合判定	目標値			備考
	(R5)	(R6)	目標値	実績値	達成度	判定		(R8)	(R9)	R10	
資料の利用件数	199点	236件	208件					218件	228件	238件	
学術著作の発表数	107件	68件	112件					119件	124件	130件	
外部資金等を活用した研究件数	30件	24件	27件					30件	33件	36件	
講座・観察会、見学会の 参加者数	2,085人	1,503人	1,750人					2,000人	2,250人	2,500人	
レファレンスサービス対応件数	3,669件	3,486件	3,800件					4,000件	4,200件	4,400件	

3 自己点検

令和 7 年度 千葉県立中央博物館実施計画 有識者評価票（案）

委員名

総評

総合的目標 中央博物館の年間利用者数

重点事業 第 1 節 千葉の海の魅力を探り、国内外に発信

重点事業 第 2 節 世界とのつながりを意識した活動

重点事業 第 3 節 他機関との連携強化

重点事業 第 4 節 デジタル技術の活用

重点事業 第 5 節 資料を未来に引き継ぐ

基盤事業

令和 7 年度 千葉県立中央博物館実施計画 評価総括票（総合的目標）（案）

総合的目標

1. 判定

項目	指標	達成度・判定（R7年度）				次年度目標値
		目標値	実績値	達成度	判定	
年間利用者数	入館者数（本館）	109,000人				
	入館者数（海博）	61,000人				
	ウェブアクセス数（本館）	212,000件				
	ウェブアクセス数（海博）	59,250件				

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 評価総括票（重点事業1）（案）

重点事業 第1節 千葉の海の魅力を探り、国内外に発信

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
展覧会で「千葉の海の魅力の理解が増した」と回答した参加者の割合（新規アンケート）	50%					
千葉の海をフィールドとした観察会・見学会の参加者数	360人					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 評価総括票（重点事業2）（案）

重点事業 第2節 世界とのつながりを意識した活動

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
展覧会で「生物多様性の理解が深まった」と感じた参加者の割合	50%					
展覧会で「千葉県と世界のかかわりへの理解が深まった」と感じた参加者の割合	50%					
海外博物館等との共同研究の数（累積）	1件					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 評価総括票（重点事業3）（案）

重点事業 第3節 他機関との連携強化

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
様々な主体との連携数	8件					
青葉の森周辺施設と共同で実施した事業数	1件					
他の博物館や研究機関等と共同で実施した事業への参加者数	250人					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 評価総括票（重点事業4）（案）

重点事業 第4節 デジタル技術の活用

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
デジタルミュージアム各コンテンツへのアクセス件数	37,500件					
S N S 等による研究成果の発信数	19件					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 評価総括票（重点事業5）（案）

重点事業 第5節 資料を未来に引き継ぐ

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
資料データベースへの登録点数（累積）	525,000件					
収蔵資料の事故による破損件数	発生させない					
県内外の資料ネットワークとの連携数	1件					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針

令和7年度 千葉県立中央博物館実施計画 評価総括票（基盤事業）（案）

基盤事業

1. 判定

指標	達成度・判定（R7年度）				総合判定	次年度目標値
	目標値	実績値	達成度	判定		
資料の利用件数	208件					
学術著作の発表数	112件					
講座・観察会、見学会の参加者数	1,750人					
外部資金等を活用した研究件数	25件					
レファレンスサービス対応件数	3,800件					

2. 自己点検

3. 有識者による評価

4. 今後の活動方針